

## ミナミハンドウイルカの個体識別調査結果 (2023年)

今号では、2023年に実施したミナミハンドウイルカの個体識別調査の結果をご報告します。2023年は、賀島列島周辺海域6回、父島列島周辺海域23回、母島列島周辺海域6回の調査を行い、皆様からご提供いただいたデータと合わせてのべ110個体を識別することができました。また、これまでの累計識別個体数は305頭となりました。調査実施にあたって、貴重な情報やデータをご提供くださった皆様に改めて御礼申し上げます。2024年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 最も出会えたイルカたち

 21回 #347 アイーン (♀) 観察歴: 2018年～



大きくしゃくれた下あごととてもユニークな個体。2018年生まれで、母親は#59 (ペロちゃん) です。生後4～5年間ほど母親と行動を共にし、2023年の冬から春ごろに親離れをしたと考えられます。しばらくは1頭で見かけることも多かったですが、徐々に、他の個体と一緒に行動する姿を見るようになりました。確認海域は父島列島海域のみです。

 18回 #321 Bライン (♂) 観察歴: 2014年～



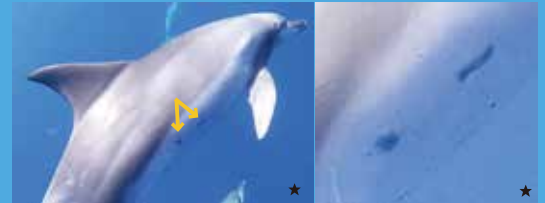
体の右側に、良く目立つ黒い線傷があるのが名前の由来。こちらも母親は#59 (ペロちゃん) であり、#347 (アイーン) の兄にあたります。メインに利用しているのは父島列島海域で、過去に一度だけ賀島列島海域で確認された記録があります (2022年8月)。

 17回 #118 フック (♂) 観察歴: 2003年～  
確認海域: 賀島列島、父島列島



背ビレ後縁の真ん中付近がフック状に欠けています。

 17回 #317 マルヒク (♂) 観察歴: 2016年～  
確認海域: 父島列島



体の右側腹部にある「●-」型の黒斑が識別ポイント。

 17回 #322 ボルコム (♂) 観察歴: 2016年～  
確認海域: 賀島列島、父島列島



体の左側にボルコムマークのような黒い斑があるのが名前の由来。左の胸ビレの上にある白斑も識別の際に有効です。

写真提供:  
● 江口 博美  
★ 工藤 志保

## ... クジラの陸上観察会のお知らせ ...

ザトウクジラの来遊シーズン中、おがさわら丸入港日の夕方に父島・ウェザーステーション展望台および母島・鯨ヶ崎展望台にて「クジラの陸上観察会」を開催いたします。それぞれの実施日時は下記の通りです。ご興味のある方、ご参加お待ちしております。

※どちらも参加無料。事前申込不要、現地集合・解散。  
※天候・海況不良の場合は中止。

## 【父島】

場所: ウェザーステーション展望台  
日程: 1/25～4/10のおがさわら丸入港日  
時間: 16時～17時

## 【母島】

場所: 鯨ヶ崎展望台  
日程: 2/8～3/22のおがさわら丸入港日  
時間: 16時30分～日没

